

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 23 年 10 月

A-11-24

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度下記検査項目につきまして、検査内容を変更させて頂きたくご案内申し上げます。

何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日 平成 23 年 12 月 1 日 (木) ご依頼分より

◆ 変更内容

2011 年 検査案内	項目 コード	検査項目	変更内容	新	旧
p.58	40310	HLA-A,B(血清対応型タイピング)	備考 (下線部追記)	<u>専用容器に採血し、よく混和させ、冷蔵保存して下さい。</u> HLA 検査 2 項目以上同時依頼の場合は血液 2.0mL で検査可能です。 <u>ただし、受給者の場合、化学療法などにより細胞数が減少し、DNA が回収できない場合がありますので細胞数 2×10^6 個を最低限としてご提出下さい。</u> 白血球数 (WBC) $1000 / \mu\text{L}$ を下回る受給者の場合は、血液 2.0mL (EDTA-2Na 入り) を 2 本以上、または血液 5.0mL (EDTA-2Na 入り) をご提出下さい。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。	HLA 検査 2 項目以上同時依頼の場合は血液 2.0mL で検査可能です。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。
	40320	HLA-DR(血清対応型タイピング)			
	40330	HLA-DRB1(DNA タイピング)			
	40340	HLA-DQB1(DNA タイピング)			
	40350	HLA-DPB1(DNA タイピング)			
	40360	HLA-A(DNA タイピング)			
	40370	HLA-B(DNA タイピング)			
	40380	HLA-C(DNA タイピング)			

次面に続く

2011年 検査案内	項目 コード	検査項目	変更内容	新	旧	備考
p.30	18530	尿中カテコールアミン総	材料	蓄尿	酸性蓄尿	劇物を含まない蓄尿 添加剤の採取方法 表記への変更。
	18540	カテコールアミン 3 分画	備考	蓄尿の場合は、必ず所定 用量の専用蓄尿添加剤を 入れた蓄尿瓶に尿を 24 時 間蓄尿し、よく混和後必要 量をご提出下さい。部分尿 の場合、専用蓄尿添加剤 は不要です。	あらかじめ、6N 塩酸約 20mL を入れた蓄尿瓶 の中へ尿を 24 時間蓄 尿し、よく混和後必要 量をご提出下さい。 なお、尿量があらかじ め少ないと予想される 場合には尿 100mL に 対して 6N 塩酸約 1mL の割合で入れて下さい。 酸性蓄尿されていない ものはデータ低下 が見られますので必ず 酸性蓄尿(pH1.0～3.0) して下さい。	
p.31	18610	VMA 定量 (バニリルマンデル酸)				
	18620	5-HIAA (5-ヒドロキシインドール酢酸)				
	18630	HVA (ホモバニール酸)				
	18570	メネフリン総				
	18580	メネフリン 2 分画				
p.34	19450	抗インスリン抗体	検査方法	RIA	RIA PEG 法	測定試薬の変更に 伴う基準値、単位、 検体量、保存、その 他検査方法参考文 献の変更。 ※現試薬と新試薬の 比較 X: 現試薬, Y: 新試薬 Y=0.003X-1.416 r=0.972(n=71)
			基準値 (単位)	0.4 未満 (U/mL)	結合率 0.4 未満 (%) 濃度 125 未満 (nU/mL)	
			検体量 (保存)	血清 0.3mL (冷蔵)	血清 0.4mL (凍結)	
p.36	20380	NSE (神経特異エノラーゼ)	検査方法	ECLIA	RIA 固相法	現試薬販売中止によ る測定試薬の変更。 および検査方法、基 準値、保存、検体 量、備考、検査方法 参考文献等の変更。 ※現試薬と新試薬の 比較 X: 現試薬, Y: 新試薬 Y=1.060X+0.665 r=0.977(n=314)
			基準値 (単位)	16.3 以下 (ng/mL)	10 以下 (ng/mL)	
			検体量 (保存)	血清 0.5mL (冷蔵)	血清 0.2mL (凍結)	
			備考	採血後、1 時間以内に血清 分離し冷蔵保存して下 さい。 溶血でのご依頼は避けて 下さい。(溶血の場合、赤 血球からNSEが逸脱して高 値となります。)	溶血でのご依頼は避 けて下さい。(溶血の場 合、赤血球からNSEが 逸脱して高値となりま す。)	
未掲載	42140	高感度 TNF- α	検体量	血清 0.5mL	血清 1.0mL	検体量の見直しによ る削減。